



安中での弁護士活動

群馬弁護士会 小坂 景子

1. はじめに

私は、司法修習終了後、高崎市内の法律事務所で実務経験を積ませていただいた後に、高崎市に隣接する安中市にて独立開業いたしました。

2. 安中市について

安中市は、群馬県西部に位置し高崎市の他にリゾート地で有名な長野県軽井沢町と世界文化遺産富岡製糸場のある富岡市にも隣接しています。かつては、中山道の宿場や関所がおかれた交通の要所として栄

えており、その利点を活かし、観光事業・商・工業が発展し充実することが期待されています。

現存するレンガ造りの橋の中では国内最大規模の「めがね橋」や、旧国鉄最大の難所だった碓氷峠の廃線跡を利用した遊歩道「アプトの道」、碓氷峠専用電気機関車「EF63形」等が保存されている「碓氷峠鉄道文化むら」、高崎駅から横川駅まで月3回ほど汽笛を響かせ走るSLなど、鉄道関係の見所が数多くあり、名物の「峠の釜めし」を食べながら鑑賞するのも趣があります。

また、市内には温泉マークの発祥の地である磯部温泉や、映画「人間の証明」の舞台となり秘湯として人気の霧積温泉もあります。さらに、大河ドラマ「八重の桜」の主人公八重の夫新島襄が暮らした居宅が「旧新島襄宅」として保存・展示されています。日本最古のマラソンとして映画「サムライマラソン」にもなった「安政遠足」あんせいとおしを受け継ぐマラソンには、全国から多くの仮装ランナーが参加します。その仮装の様子を見るだけでも楽しく、毎年、沿道は応援する多くの市民で賑わいます。



めがね橋



アプトの道



アプトくん（碓氷峠鉄道文化むら）

3. 地域の状況

安中市内に裁判所はなく、前橋地方裁判所高崎支部の管轄になります。同支部管内には9市町村があり、管内の人口は57万人ほどになります。同管内では高崎市を中心に約140名の弁護士が活動しています。安中市は人口約5万4000人ですが弁護士は私一人で、9市町村のうち5町村は弁護士がいません。私は独立にあたり裁判所までの移動を考慮して高崎市寄りの場所に開業したため、高崎支部までは20分ほどですが、本庁までは40分～50分かかり、移動時間が少し負担となっています。

4. 業務の状況

私の場合、様々な種類のご相談をいただくので、取扱い分野を絞ることなく一般民事から刑事事件、家事事件まで幅広く対応しております。地域特有の事件はありませんが、高齢化率が高いためか、相続関連のご相談が多いように感じます。また、群馬県の車の保有率は全国1位で、3～4台保有している世帯も少なくありません。当然に交通事故も多く、受任事件の中で交通事故の割合も少し高いような気がします。

インターネットや看板を見ての問い合わせもありますが、法テラスやLACを利用される方の中には、近くの弁護士への相談を希望される方が一定数いらして、お問い合わせいただいています。また、開業後入会した

地元のロータリークラブの会員の方からの相談や紹介、さらに市内には弁護士が私しかいないこともあり、自治体や社会福祉協議会、商工会から相談をいただくこともあります。弁護士会からの相続財産管理人の推薦や裁判所からの管財人などの事件も対応しています。

以上のように、私の場合は、様々なルートからのご相談が受任につながっております。

5. 安中での暮らし

ロータリークラブや商工会の会員として、お祭やイベントに参加することで、今まで知らなかった地域の取組などを身近に感じるとともに地域の方との交流を深めることができています。また、他業種の知り合いが増え、地域の情報を共有したり専門外の事柄について相談することができるようになり、弁護士としての業務を行う上で心強く感じています。さらに、司法書士・社会福祉士の方とともに安中市の中核機関の専門職委員として、地域の成年後見利用促進事業に関わることができたことも励みになっております。加えて、市の審議会などに委員として関わる機会を得て、通常の弁護士業務では経験することのできない新たな知識を得たり経験を深めることができています。

これからも、安中での生活を楽しみながら、困った時に頼れる地域の弁護士になれるよう頑張っていきたいと思っています。



峠の釜めし



旧新島襄宅